

肖像

の

武満徹

武満徹没後30年記念企画

二つのレント (1950) ピアノのためのより

I アダージョ

妖精の距離 (1951/89) ヴァイオリンとピアノのための

遮られない休息 (1952-59) ピアノのための

フォー・アウェイ (1973) ピアノのための

オリオン (1984) チェロとピアノのための

エア (1995) フルートのための

SONGS

うたうだけ (1958) 谷川俊太郎・詞

死んだ男の残したものは (1960) 谷川俊太郎・詞

翼 (1982) 武満徹・詞

MI・YO・TA (1950年代/1996) 谷川俊太郎・詞

ビトゥイーン・タイズ (1993) ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための

2026 **9.26** [土] 15:30開場 | 16:00開演
水戸芸術館 コンサートホールATM

料金 (全席指定) :

一般 ¥4,500 | U-25 (25歳以下) ¥1,500 |

「秋庭歌一具」(10/4) 公演とのセット券 (枚数限定) ¥7,000

*未就学児入場不可 *U25チケットおよびセット券の取り扱い、は水戸芸術館のみ

Photo: Schott Music Co., Ltd., Tokyo

チケット発売: 5月30日 [土]

財団運営維持会員先行予約: 5月26日 [火] *電話・Web予約のみ

メンバーズ会員先行予約: 5月27日 [水] *電話・Web予約のみ

主催: 公益財団法人水戸市芸術振興財団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



チケット取り扱い: 水戸芸術館 (9:30~18:00 | 月曜休館)

◎エントランスホール内チケットカウンター

◎チケット予約センター TEL 029-231-8000

◎ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> (PC・携帯)

かわまた楽器店 TEL 029-226-0351

ヤマハミュージックジャパン水戸店 TEL 029-244-6661 (店頭販売のみ)

水戸芸術館
ART TOWER MITO

波多野 睦美
(メゾソプラ)

高木 綾子
(フルート)

成田 達輝
(ヴァイオリン)

山澤 慧
(チェロ)

北村 朋幹
(ピアノ)

片山 杜秀
(ナビゲーター/水戸芸術館館長)



©HAL KUZUYA

©Shigeto Imura

©Marco Borggreve

©Ayane Shinoda

©TAKA MAYUMI

Photo: Jun Azawa

武満徹がこの世界に 遺した音楽

武満徹がこの世を去って、30年の歳月が過ぎた。しかし、武満がこの世界に遺した音楽は、今も私たちの周りに息づいている。それは、武満自身が真に「時間の園丁」であったことの証なのだろう。

と 時間 の園丁

昔、感心して読んだ、オーストラリアの少女の、俳句のような、短詩を憶いだす。

時間は生命の木の葉、
そして、私はその園丁だ。
時間は、緩っくりと、落ちていく。

(中略)

私もまた時間の園丁だ。

無限の時間に連なるような、音楽の庭をひとつだけ造りたい。自然には充分の敬意をはらって、しかも、謎と暗喩に充ちた、時間の庭園を築く。だがこれは、あるいは、不遜な野望かもしれない。それにまた、それが可能だという保証もない。一枚一枚の生命の木の葉を掻き集めて、火を点す。それは祈りのようなものだ。内面に燃焼する焰が、この宇宙の偉大な仕組みを、瞬時でも、映しだしてくれたらいい。だがそれには、私がこれまでしてきた努力では、未だ到底不足だろう。落葉の光景に安らぎを覚えながら、反面、抑えようもない苛立ちが私をとらえる。庭の片隅の小さな菜園に、蕪が、まるい白い肌をころころと無心に晒している。間もなく霜が降り、水道の水も凍る。時が経って、鳥たちが再び戻ってくる頃までには、いまの仕事を了えなければならない。

時間は、緩っくりと、落ちていく。

— 武満 徹『遠い呼び声の彼方へ』（新潮社1992年刊）より
[出典：期刊《都響》1988年1月]

本公演は、武満徹が戦争によって奪われた自己の「生」を取り戻したいという想いのもとに作曲活動を開始した最初期の作品から、前衛音楽の影響を受けながら独自の音楽語法を磨き上げた時代の作品、そして、最後に辿り着いた「歌」の境地まで、その創作の軌跡を辿るとともに、武満が望んだ時間の庭園を巡るものである。

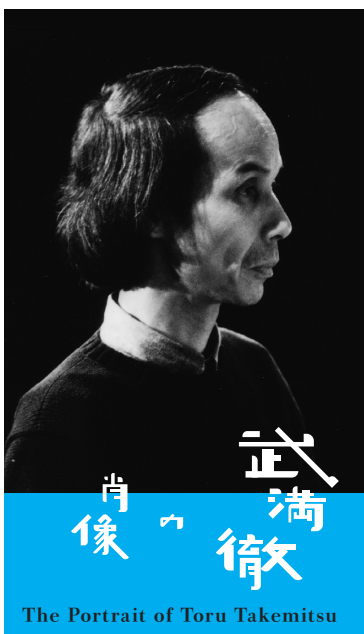


Photo: Schott Music Co. Ltd., Tokyo

武満 徹 (作曲家)

Toru Takemitsu, composer

1930年、東京生まれ。生後1か月で父の勤務地である中国の大連に渡る。37年、小学校に入学するため単身帰国。45年、学徒動員先で終戦を迎える。46年、進駐軍放送で音楽を聴き続けるうちに作曲を志す。48年、京華中学校を卒業、清瀬保二に作曲を師事したが、音楽に関してはほとんど独学であった。

50年、「新作曲派協会」に入会し、ピアノ曲〈2つのレント〉を発表するが、山根銀二から音楽以前と評された。51年、作曲家鈴木博義、ピアニスト園田高広、美術作家山口勝弘、評論家秋山邦晴らとともに詩人で美術評論家の瀧口修造のもとに集い「実験工房」を結成した。57年、出世作〈弦楽のためのレクイエム〉を作曲。58年、〈弦楽のためのソナリグラフィ〉が、吉田秀和が所長を務める「20世紀音楽研究所」現代音楽祭の作曲コンクールで

第1位を受賞、後に同研究所のメンバーとなる。

映画音楽〈日本の紋様〉(61)で初めて日本の伝統楽器を採り上げる。その延長線上の試みとして、ニューヨーク・フィルハーモニック創立125周年記念委嘱作品である琵琶、尺八とオーケストラのための〈ノヴェンバー・ステップス〉(67)を作曲し、小澤征爾の指揮で初演された。73年には雅楽のための〈秋庭歌〉を作曲。

70年代後半頃から国際的な評価を集め、〈パリの秋〉フェスティバル(78)、ベルリン芸術週間(81)、ロンドン(86)、タングルウッド(86)他、多くの音楽祭のテーマ作曲家、ゲスト作曲家となり、85年にはフランス政府芸術勲章を授与される。その後、東ドイツ芸術アカデミー名誉会員、アメリカ芸術文学アカデミー名誉会員、フランス芸術員名誉会員に選ばれる。

96年2月20日、癌のため東京で死去。享年65歳。

水戸芸術館では、90年から亡くなるまで吉田秀和賞の審査員を務めた。また、92年に〈そして、それが風であることを知った〉が世界初演されている。

〈出演〉 波多野 睦美 (メゾソプラ)

高木 綾子 (フルート)

成田 達輝 (ヴァイオリン)

山澤 慧 (チェロ)

北村 朋幹 (ピアノ)

片山 杜秀 (ナビゲーター/水戸芸術館館長)

出演者のプロフィールはQRコードから



◆ 講座 片山館長とめぐるシリーズ 第1回 武満徹をめぐる

9月5日 [土] 14:00 開演

全席自由: ¥1,000

講師: 片山杜秀 | 司会: 大津良夫

記念企画 武満徹没後30年

◆ 今昔雅楽集 四、秋庭歌一具

10月4日 [日] 16:00 開演

全席指定: 一般 ¥4,500 | U-25 (25歳以下) ¥1,500

*「武満徹の肖像」公演とのセット券 ¥7,000 もございます。

出演: 伶楽舎、荒木奏美 (オーボエ)、宮田まゆみ (笙)、片山杜秀 (ナビゲーター)

お問合せ: 水戸芸術館チケット予約センター
Tel.029-231-8000 | 9:30~18:00 (月曜休館)

- 車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、座席へのスムーズなご案内のため、予約時にお知らせください。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- 公演の内容や出演者は、変更になる場合があります。
- 公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。

- 【U-25チケットについて】
- 25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。
- ご購入いただいたご本人様のみご利用可能です。
- ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。
- 取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

水戸芸術館

〒310-0063

茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL 029-227-8111

<https://www.arttowermito.or.jp/>

